

令和8年度 第1回

小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会



令和8年7月10日

@イオンモールいわき小名浜 イオンホール



- 1 昨年度協議会の振り返り
- 2 いわき F C スタジアム構想の現在地
- 3 スタジアム構想への市の関わり
- 4 今後の進め方



1 昨年度協議会の振り返り



協議会取りまとめ結果

- ◆昨年度は**全4回**を通して、スタジアム整備も含めたエリア周辺を含む視点から、必要な取組事項をハード・ソフト両面から議論を実施
- ◆「**交通対策**」及び「**津波避難対策**」に関する**基本的な考え方と対応の方向性**を整理

- **4/17** 協議会から市長へとりまとめ結果を報告
- **5/28** 4者の共同記者会見（いわき商工会議所、いわきスポーツクラブ、協議会、市）を開催し、「スタジアム構想の現在地」の説明や、「市経済界の関わり」及び「市の関わり」等を表明

市長報告



4者共同記者会見





1 昨年度協議会の振り返り



「小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会」からの市長報告（1/2）令和8年4月17日

1 目的

JリーグいわきFCの新スタジアム整備候補地が小名浜港に選定され、これを契機として、**小名浜港周辺エリアの更なる賑わいの創出や交流人口拡大、エリア価値の向上を図るとともに、その効果を市内全域に波及させるため、当該エリアにおける防災や交通対策といった課題や市として担うべき役割等を整理し、課題解決に向けた協議・調整を行うことを目的に「小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会」を発足しました。**

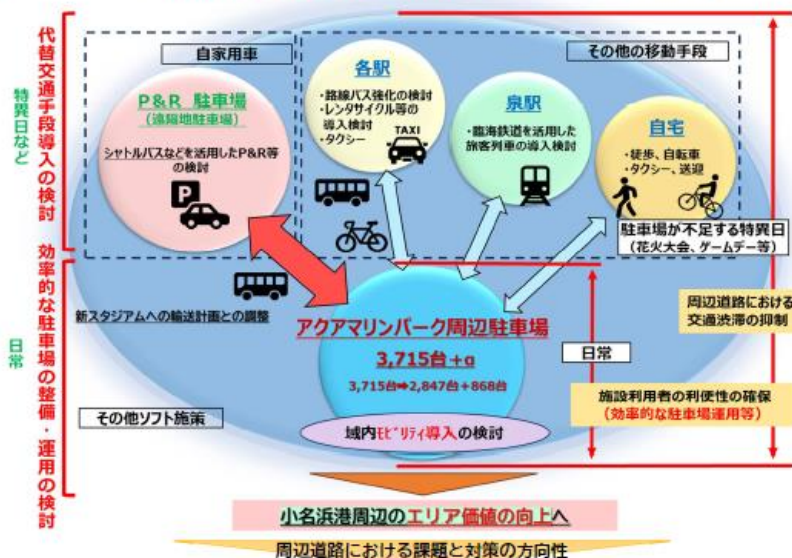
今回、協議会として各課題解決に向けた考え方を取りまとめたことから、報告するものです。

▼新スタジアムのイメージ（いわきSC作成）



3 交通対策に関する基本的な考え方と対応の方向性

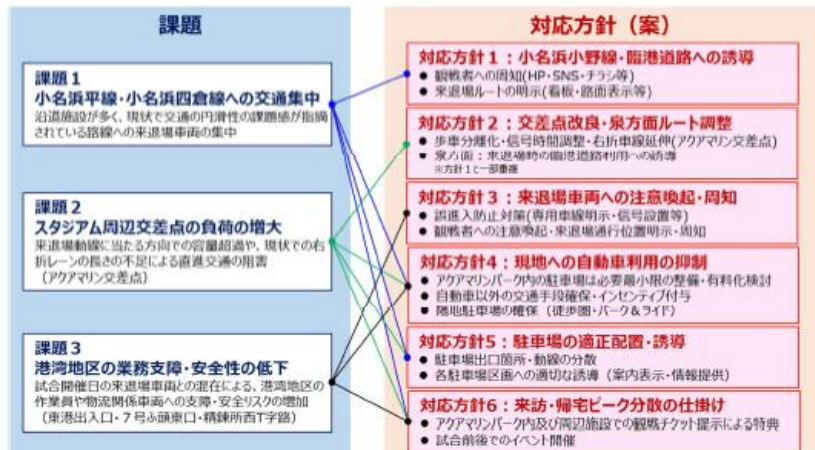
新スタジアム整備に伴い減少する**駐車場台数の確保**やサッカー試合日等の特異日における**代替交通手段導入の方向性**について議論しました。



2 防災・交通対策協議会プログラム

全4回を通して、スタジアム整備も含めたエリア開発の視点から、必要な取組事項をハード・ソフト両面から議論しました。

時期	主な議題テーマなど
第1回 2025/10/6	●小名浜エリアの現状について ●交通量調査の概要について ●ハワイアンズスタジアム利用者に対するアンケート調査について
第2回 2025/11/10	●アクアマリンパーク周辺における交通対策の基本的な考え方について ●津波避難対策検討の今後の進め方について
第3回 2026/1/30	●アクアマリンパーク周辺における交通対策の基本的な考え方 ●駐車場整備（代替駐車場含む）の検討 ●代替交通手段導入の検討 ●交通量調査の結果概要、交通ネットワークの課題と解決策 ●津波避難シミュレーション
第4回 2026/3/23	●交通・駐車場対策 ●津波避難対策 ●AMP周辺におけるインフラ整備と動線のイメージ ●今後のまちづくりの進め方





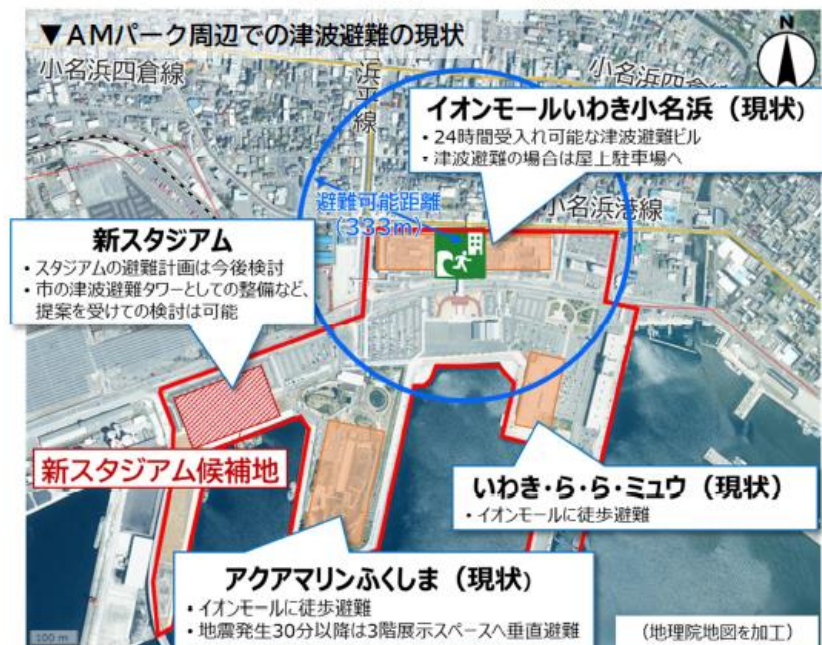
1 昨年度協議会の振り返り



「小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会」からの市長報告（2/2）令和8年4月17日

4 津波避難対策に関する基本的な考え方と対応の方向性

当該エリアは津波浸水想定区域に指定されており、近隣に避難施設が1箇所しかない状況を踏まえ、**エリア全体としての津波避難対策の考え方**を整理しました。その上で、**対策の方向性**について議論しました。



対策の方向性

○小名浜エリア全体でエリア防災体制を推進するとともに、より確実かつ安全に避難できる環境構築を目指し、以下の視点により新たな避難場所の確保を検討

- 避難先の分散：避難先の集中回避、より安全な場所への避難
- 避難時間の短縮：より近い避難場所への避難を可能に
- 避難環境の改善：避難先での混雑による避難者のストレス緩和と短期滞在の環境保全

- 要支援者については、モビリティ避難等の対応策を検討
- コミュニティレジリエンスによる地域の強靱化

5 AMパーク周辺におけるインフラ整備と動線のイメージ

新スタジアム整備に伴う代替駐車場の適地選定にあたり、当該エリア周辺の**公共用地を対象**として、「エリア価値」、「交通への影響」、「防災」等の検討の視点を踏まえ、メリットや課題を整理しました。

また、エリア価値の向上や、交通における課題解消、防災の観点での一時避難所など各視点に寄与するような、駐車場、横断施設の立体化を踏まえた整備検討と屋上広場の一体利活用なども検討していくとしています。

なお、必要なインフラ整備は、いわき市が事業主体として推進するとしています。

※「旧小名浜魚市場跡」については、「漁港区であるため水産復興に貢献するような使い方をすべき」とのご意見を踏まえ、代替駐車場候補地から除外する方向で検討を進めます。



▼インフラ整備・動線のイメージ

6 今後の推進体制について

今後は**協議会を親会として分科会を設定**し、テーマを分けながら深度化・実現に向けた協議・調整を行う提案をしました。

（仮称）小名浜港周辺におけるエリア価値向上協議会（親会）

交通混雑対策部会

主に自動車交通処理や産業機能との共存方法について議論

- 渋滞対策
- 産業機能との共存対策

公共交通部会

公共交通などの自動車以外のアクセスについて議論

- P&Rの導入
- レンタサイクルの導入
- 路線バスの強化
- 臨海鉄道の利活用
- タクシーの活用

エリア価値向上部会

小名浜港周辺エリアの更なる賑わい創出と交流人口拡大、エリア価値の向上等について議論

- 賑わい創出
- 回遊性の向上
- その他

津波避難及び防災（風水害）対策部会

アクアマリンパークにおける津波避難に必要な施設や導入方策について議論

- 津波避難計画など
- 避難施設
- 観光地特有の課題対応



2 いわき F C スタジアム構想の現在地 (いわきSC資料)



3 スタジアム構想への市の関わり

👉 新スタジアム構想の実現により期待される効果

● 人口減少社会への対応

- 世代を超えた多くの地域住民が価値観や感動を共有できる新たな交流空間の創出
- 若者の流出抑制、UIJターンの促進、関係人口、交流人口の拡大
- スポーツを核に周辺産業への波及効果による地域経済の活性化 など

年間約83,000人(1試合平均で約4,370人)が来場

うち域外からのアウェイサポーターは約8,750人(1試合平均約460人)

※2025シーズン実績



● 喫緊の課題(医療、子育て、公共交通、教育等)への対応

- スタジアムづくりのプロセスにおいて、顕在化する地域課題の解決策を議論
- 外部からの民間投資を呼び込むため、多様な主体を巻き込んだ、新たな官民連携手法を検討 など



人口減少社会や喫緊の課題への対応(医療、子育て、公共交通、教育等)

新スタジアムは「**地域が主語**」をキーワードに、単なるサッカー場ではなく、新たな価値創造の場とするため、

👉 **まちづくりのパートナー**であるいわきスポーツクラブが**相当な覚悟のもとチャレンジ！**

👉 **福島県浜通りの復興のシンボル**となるこのプロジェクトを、
公民連携の新たな手法により実現することで、
地方創生の成功モデルとすべく取り組む！



1 周辺インフラの整備



2 公共機能の導入の検討



3 エリア価値向上に向けた継続検討



※「企業版ふるさと納税による財政支援」は継続して実施



【具体的な市の関わり】

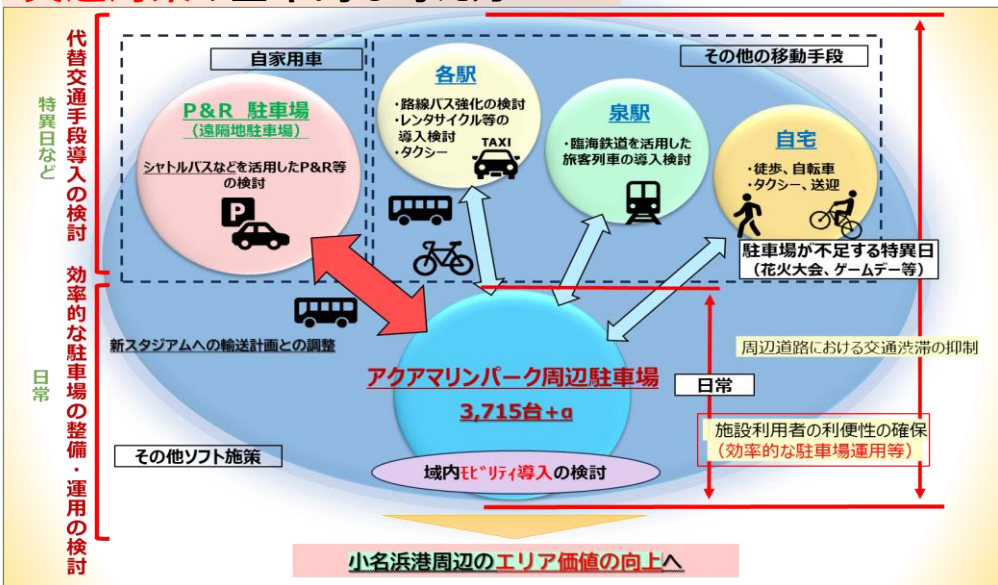
1 周辺インフラの整備



- 多くの人や車が集うこのエリアにおいて、安心かつ安全に過ごすことができ、また近隣住民をはじめ、港湾関係事業者や周辺施設等に支障をきたさないための環境整備は、地元自治体である「いわき市」の役割として取り組みます。
- 必要となるインフラについては、国等の補助メニューを最大限に活用しながら整備を進めます。

※いわきSCと本市の共創の取組みや熱意が国に評価され、「令和8年度官民連携基盤整備推進調査費」を採択

交通対策の基本的な考え方



津波避難対策の基本的な考え方

- より確実かつ安全に避難できる環境構築を目指す
 - ☞ 避難先の分散 : 現況の避難先への集中回避、より安全な場所へ避難可能へ
 - ☞ 避難時間の短縮 : より近い避難場所へ避難可能に
 - ☞ 避難環境の改善 : 避難先の混雑による避難者のストレス緩和と短期滞在の環境保全
- 要支援者は、モビリティ避難等の対応策を検討
- コミュニティ・レジリエンスによる地域の強靱化



周辺インフラの整備方針

- 交通における課題解消、防災の観点での一時避難所などに寄与するべく、必要なインフラ（駐車場や横断施設等）の整備を検討
- 既存施設を含めたエリア全体を安全、安心、快適な空間とするべく、供用後の運用を踏まえた整備を検討



- ・ 小名浜地区の公共施設再編に合わせ、新スタジアムと共創し、エリア価値向上につながる公共機能の配置を検討します。
- ・ 例えば、沿岸部には賑わいを生む機能、市街地には行政窓口などを配置する案などが考えられます。



IWAKI
STADIUM LABO

沿岸部

こどもの居場所、図書館等の交流スペース

にぎわいづくりに資する公共機能を

スタジアムと共創



行政窓口 災害対応 保健福祉

市街地部

生活に密着した公共機能の再配置を

- ・ 今後、いわきSCはスタジアムの詳細を、市はいわきSCがスタジアム内に想定している公共機能の導入を含めた、小名浜地区の公共施設再編を具体的に検討していきます。



- ・「小名浜港周辺における防災・交通対策協議会」の協議結果を踏まえ、今年度以降、ハード・ソフト両面から具体の対策を取りまとめていくべく、テーマを分けた分科会を設置し検討を進めます。
- ・特に「エリア価値向上(賑わい創出等)」については、市内全域へ波及させるための視点を強く持ち、いわきSCが推進する「スポーツコンプレックス推進事業」などと連携し効果的に進めます。

(仮称)小名浜港周辺におけるエリア価値向上協議会(親会)



交通混雑対策部会

主に自動車交通の処理や産業機能との共存方法について議論

○渋滞対策

- ・駐車場(周辺地などの活用含)及び立体横断施設の検討
- ・試合帰りを分散させる手段検討
- ・行き帰りの走行ルートを分散させる手段検討

○産業機能との共存対策

- ・錯綜する走行レーンの整理検討
- ・事故防止に係る事前措置検討等

公共交通部会

公共交通などの自動車以外のアクセスについて議論

○OP&Rの導入

- ・隔地駐車場の選定
- ・シャトルバス運行計画の検討

○路線バスの増強

- ・対象ルート及び駐車場の検討
- ・ダイヤの検討

○臨海鉄道の利活用

- ・市民・企業等の関わり方の検討
- ・事業性・スキーム 等

津波避難及び防災対策部会

AMP内における津波避難に必要な施設や誘導方策について議論

○津波避難計画など

- ・エリア全体での考え方の整理
- ・津波避難計画の検討
- ・事業者間の調整・連携体制
- ・要支援者対策:モビリティ避難・訓練・周知

○避難施設

- ・インフラの強化
- ・避難誘導看板(多言語) 等

エリア価値向上部会

小名浜港周辺エリアの更なる賑わい創出と交流人口拡大、市内全域への波及等について議論

○賑わい創出

- ・機能配置・空間づくりの検討
- ・試合のない日の活用アイデア
- ・イベント実施、誘致の検討

○回遊性の向上

- ・域内モビリティの導入検討
- ・滞在時間の延長手法の検討
- ・他地域との連携 等



4 今後の進め方



昨年度の本協議会での検討結果を踏まえ、防災や交通対策に加え、小名浜港周辺の更なる賑わい創出や交流人口拡大といった、エリア価値向上を目的として、必要なインフラ整備等の調査・検討を行うため、6月議会において、以下の3業務について補正予算を計上し、議決されました。

◆ 概略設計業務については、国交省の「令和8年度官民連携基盤整備推進調査費」の採択を受けて実施

概略設計業務

◆ アクアマリンパーク周辺における賑わい創出や、交通混雑及び津波防災対策に必要な基盤整備の機能・配置・規模を把握するための設計・調査

【対象施設等】

人道橋、駐車場、広場、バスターミナル、測量、駐車場の運営管理に係るPPP/PFI導入可能性調査検討 等

小名浜地区移動実態調査業務

◆ A Mパーク周辺地区を発着とした移動実態を把握し、自家用車以外の代替交通手段導入を検討するための調査

- ① エリア地区内外住民や立地企業へのアンケート調査
- ② アクアマリンパークイベント時来訪者の移動動向の把握調査
- ③ 臨海鉄道旅客化を実施した場合の観光需要調査

A Mパーク駐車場運用に係る検討業務

◆ 交通混雑対策の観点から、A Mパーク全体の駐車場の配置や出入口の位置、交通案内方法を検討するための調査

- ① 駐車場利用実態調査
- ② 駐車場運用手法の検討



4 今後の進め方



昨年度の協議会とりまとめ結果を踏まえ、4部会を設置し議論の深度化を実施するため、各部会のメンバー（事務局案）を設定しましたので、ご担当者さまの選出を7月17日(金)までお願いします。

交通混雑対策部会

主に自動車交通の処理や産業機能との共存方法について議論

【部会メンバー(案)】

- いわきスポーツクラブ
- 小名浜港利用促進協議会
- 福島県タクシー協会いわき支部
- 新常磐交通
- 小名浜まちづくり市民会議
- 小名浜地区区長連合会
- いわき観光物産センター
- ふくしま海洋科学館
- イオンモールいわき小名浜
- 小名浜港湾事務所(国)
- いわき地方振興局(県)
- いわき建設事務所(県)
- 小名浜港湾建設事務所(県)
- いわき東警察署(県)
- いわき市
(事務局:いわき市都市計画課)

公共交通部会

公共交通などの自動車以外のアクセスについて議論

【部会メンバー(案)】

- いわきスポーツクラブ
- いわき貸切バス事業者協議会
- いわき商工会議所
- 福島県タクシー協会いわき支部
- 新常磐交通
- 小名浜まちづくり市民会議
- 福島臨海鉄道
- いわき観光物産センター
- ふくしま海洋科学館
- イオンモールいわき小名浜
- いわき市
(事務局:いわき市公共交通課)

津波避難及び防災対策部会

AMP内における津波避難に必要な施設や誘導方策について議論

【部会メンバー(案)】

- いわきスポーツクラブ
- 小名浜港利用促進協議会
- 福島県漁業協同組合連合会
- 小名浜まちづくり市民会議
- 小名浜地区区長連合会
(関係区長含む)
- いわき観光物産センター
- ふくしま海洋科学館
- イオンモールいわき小名浜
- 小名浜港湾事務所(国)
- 小名浜港湾建設事務所(県)
- いわき市
(事務局:いわき市危機管理課)

エリア価値向上部会

小名浜港周辺エリアの更なる賑わい創出と交流人口拡大、市内全域への波及等について議論

【部会メンバー(案)】

- いわきスポーツクラブ
- 小名浜港利用促進協議会
- いわき商工会議所
- 小名浜まちづくり市民会議
- いわき観光物産センター
- ふくしま海洋科学館
- イオンモールいわき小名浜
- いわき地方振興局(県)
- 小名浜港湾建設事務所(県)
- いわき市
(事務局:いわき市政策企画課
公民連携推進担当)

※部会の検討状況等によっては、部会メンバー以外の方々と個別協議・調整を実施する場合があります。



4 今後の進め方



(仮称) 小名浜港周辺エリア価値向上基本計画の策定

- 本協議会で議論し合意が得られた内容を踏まえ、市において、「(仮称)小名浜港周辺エリア価値向上基本計画」の策定を目指します

【具体的な検討概要】

- **渋滞対策部会**：インフラ施設の検討(駐車場、人道橋、交通ターミナル等) 等
- **公共交通部会**：P&Rの導入検討、路線バスの増強、臨海鉄道の利活用検討 等
- **津波避難部会**：コミュニティ・レジリエンスによる地域の強靱化 等
- **エリア価値部会**：試合のない日の活用アイデア、市域全体を踏まえた回遊性向上 等

協議会開催スケジュール(案)

第1回協議会
(7/10)

本
日

【部会】

- ・交通混雑
- ・公共交通
- ・津波防災
- ・エリア価値

第2回協議会
(12月頃)

中
間
報
告

【部会】

- ・交通混雑
- ・公共交通
- ・津波防災
- ・エリア価値

第3回協議会
(3月頃)

取
り
ま
と
め

基本計画の策定

インフラ等の各事業実施

※各部会については、議論や検討状況に応じて複数回開催予定

(仮称) 小名浜港周辺エリア価値向上基本計画のイメージ

第1章 総論

1. 計画の背景と目的

- 小名浜港周辺エリアの現状と課題
- 新スタジアム整備を契機とした価値向上と目的

2. 計画の対象範囲と期間

- 計画対象エリアの範囲（小名浜港周辺地域）
- 計画期間（策定から供用後5年間程度）

3. 基本方針と将来像

- エリア価値向上ビジョン（コンセプト）
- 交通・防災対策の基本方針
- 空間構成の基本方針

第2章 新スタジアム整備計画

1. スタジアム・ラボの基本概要

- 整備地の位置と面積
- スタジアムの規模・機能概要
- ラボの規模・機能概要
- 日常的な賑わい創出機能・津波避難ビルとしての活用

2. 土地活用スキーム

- 土地の借地・転貸借方式
- 県有地活用に関する手続き等

第3章 周辺インフラ整備計画

1. 代替駐車場の整備

- 既存駐車場の廃止（整備候補地）
- 代替駐車場の整備（立地場所・規模・導入機能）
※3号ふ頭へのアクセス路整備含む
- アクアマリンパーク全体の駐車場運用方針

2. 交通渋滞対策

- 自動車交通の広域的な誘導
- 交差点の改良・路面標示・看板等の設置
- 立体横断施設の整備
- 来訪・帰宅ピーク分散等の仕掛け

3. 代替交通手段の導入

- 臨海鉄道の旅客運行の事業性
- 路線バスの強化
- P & R 隔地駐車場とシャトルバスの運行
- その他代替交通手段（タクシー・レンタサイクル）
- 交通ターミナルの整備（車両配置・導入機能）

4. 津波避難・防災インフラ整備

- 安全な避難経路等
- 避難誘導標識等
- エリア防災推進等

第4章 エリア価値向上施策

1. 賑わい創出

- 施設間連携イベント
- エリアマネジメント体制

2. 回遊性の向上

- 空間連携・回遊動線デザイン
- 域内モビリティ導入

第5章 計画の進行管理と評価

1. スケジュール

2. 評価指標（KPI）の設定